

四一五七番

紅くれなるの衣ころもにほはし 辟田川さきたがは 絶たゆることなく
我われかへり見みむ

四一五八番

年としのはに 鮎あゆし走はしらば 辟田川さきたがは 鶺鴒うや八やつ潜かづけて
川瀬尋ねむ

渋谿しぶたにの崎さきに過より、巖いはほの上うへの樹きを見みる歌うた一首

四一五九番

磯いその上うへの つままを見みれば 根ねを延はへて 年とし深ふかか
らし 神かむさびにけり